

OCTOBER 2021

名古屋能楽堂

# 十月定例公演

能・狂言でめぐる街道の名所

— 愛知県知立市にゆかりの能 —

花の名所は数々あれど

三河の国の八橋といえは、『伊勢物語』の貴公子が立ち寄り  
歌を詠んだことで、旅愁、望郷、道ならぬ恋の憂い……と、  
様々な連想を誘う地名になりました。

カキツバタの花もまた、後の世まで貴公子の秘密を知る  
語り部となったのです。偶然の折り比べが、  
街道の茶屋を名所に変える予感を含んだ狂言

《禰宜山伏》とともに。



狂言

能

「禰宜山伏」(和泉流)  
シテ 奥津健太郎

「杜若」(観世流)  
シテ 瀬戸 洋子

能「杜若」(観世流)久田勘鶴  
(撮影:杉浦賢次)

令和3年  
10月23日(土)

14:00開演 (13:00開場)

全指定席

正面席A …………… 4,200円  
正面席B、中・脇正面席…3,200円  
学生券(正面席A以外)…2,000円

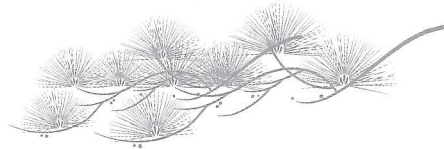
※学生は25歳以下を対象とします。  
※チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。  
※本公演の座席は定員の半分以下の数で、市松模様状に配置しております。  
※感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。  
マスクを着用でない方の来館はお断りします。  
※入場時の検温にご協力をお願いいたします。  
37.5度以上の場合は入場をお断りします。



文化庁 大規模かつ質の高い文化芸術活動を核としたアートキャラバン事業  
Supported by the Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

8月13日(金)より  
前売券発売





(午後四時頃終了予定)

シテ	山伏	奥津健太郎
ワキ	御師	野村又三郎
	茶屋	松田 高義
	大黒天	浅井涼多朗
	後見	藤波 徹
シテ	杜若の精	瀬戸 洋子
ワキ	旅僧	飯富 雅介
	笛	竹市 学
	小鼓	後藤嘉津幸
	大鼓	河村眞之介
	太鼓	鬼頭 義命
	後見	久田 勘鷗
		久田 三津子
		伊藤 裕貴
		本田 勲
		山中 雅志
		松山 幸親
		吉沢 旭
地謡		

狂言

禰宜山伏 (和泉流)

◇開演前ショート解説：午後二時四十五分から午後二時「杜若」について 久田勘鷗

休憩十五分

◇狂言解説「禰宜山伏」(ねぎやまぶし)

旅の道中、禰宜(御師)が街道の茶屋で一服しています。すると偶々山伏が通りかから、禰宜に対してなにかと難癖を付けはじめ、挙句の果てには肩荷の箱まで押し付けて家来同然に扱おうとする始末。この様子を見咎めた茶屋の主人は、計らいに主人の所有する大黒天を、双方の祈祷で祈り比べて勝負するよう提案します。...

一見大人しくも伊勢神宮の威光を背景に持つ芯の強い禰宜と、難行苦行の末に得た能力ゆえ、傲慢な態度をとる山伏の対比がくっきりと描かれている演目で、神仏信仰の表れとともに権力に抑圧された時代背景も捉えた作品です。

また大黒天役には敢えて子どもが演ずる事も多く、大きな小槌を振りながらの采配ぶりは、小さいながらも絶対の自信が伺える、痛快な作品とも云えます。

(井上松次郎)

◇能解説「杜若」(かきつばた)

東国行脚の旅僧が三河の国に着きますと、沢辺の杜若が今を盛りと咲いています。僧が花を眺めていますと、一人の女が現れ、ここは八橋という杜若の名所だと伝えます。そして伊勢物語にも八橋の由来が書いてあり、かきつばたの五文字を句の上においた業平の歌を紹介します。「唐ころも着つつ馴れにし妻しあれば 遙々来ぬる 旅をしぞ思ふ」。女は業平の跡を語り、見苦しいがと、僧を自分の庵に案内し一夜の宿を勧めます。

やがて女は初冠(ついかんむり)に唐衣(からころも)の姿で現れ、この衣が歌に詠まれた唐衣で高子(二条の后)の御衣で、初冠は業平の形見の冠だと云います。僧が不審に思い尋ねると、自分は杜若の精であると明かし、また業平は極楽の歌舞の菩薩の化現なので、詠む和歌の言の葉までもがみな法身説法の妙文で、草木まで露の恵みで成仏するのですよと語り、伊勢物語や業平について語り、舞を舞い、やがて消えていきます。

京の銘菓「八ッ橋」の名前の由来には、二つあるそうで、一つ目は箏曲の祖・八橋検校にちなみ、箏の形に似せたものというもので、もう一つは伊勢物語九段での、かきつばたの名所、三河の国八橋にちなみ、橋の形に似せたものという由来だそうです。

◇「イヤホンガイド」

◆能「杜若」  
日本語/田崎 未知(能楽研究家・名古屋能楽堂イヤホンガイド)  
英語/川崎 瑠子(能楽イヤホンガイド・名古屋)

止むを得ず曲目、出演者等が変更となる場合があります。  
上演中の写真撮影・ビデオ撮影・録音は事前に許可を受けた方以外は遠慮ください。

十月定例公演事前学習講座  
10月2日(土) 14:00~15:30

受講チケット500円

◆能「杜若」のあらすじ、見どころを解説します。詳細は事前学習講座チラシをご覧ください。  
※事前学習講座のチケットは、名古屋市文化振興事業団の管理する文化施設窓口にて取り扱いをしております。

チケット料金(税込み) \*前売券発売日 令和3年8月13日(金)

全指定席	正面席A	正面席B・中正面席・脇正面席	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	4,200円	3,200円	2,000円

\*学生券は25歳以下を対象とします。\*未就学児のご入場はお断りいたします。  
\*チケットは1回につき4枚までの販売とさせていただきます。

\*事業団友の会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引きです。(学生券の割引はありません。)  
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088  
\*前売券発売日当日は、お電話がつながりにくいことがあります。  
名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387  
(平日9:00~17:00/チケット郵送可)  
名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口<土日祝日も営業>でもお求めいただけます。  
(工事休憩などがありますので、ホームページでご確認ください。)  
チケットびあ/TEL.0570-02-9999(Pコード508-001)

\*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引致します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)  
Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ/名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。マスクを着用でない方の来館はお断りします。
- ◎入場時の検温にご協力をお願いします。37.5度以上の場合は入場をお断りします。
- ◎チケットの半券にお名前と連絡先電話番号をご記入ください。ご記入いただきました個人情報は、新型コロナウイルス感染者が発生した場合など必要に応じて保健所等の公的機関へ提供されます。一定期間経過後に適切に破棄させていただきます。
- ◎本公演の座席は定員の半以下の数で、お客様同士の距離を保っていただくため市松模様に配置しております。
- ◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/scd24\_top.html